

若者の7割超「自分の市場価値上げたい」

Z世代が新入社員として入社する今の時代、価値観の異なる若者へのマネジメントに頭を悩ませる企業も多い。そこで、Z世代のキャリア観について調査した結果を示すとともに、人手不足や若手の早期離職が課題に挙がる宿泊業界で、新人研修や若手社員の育成に力を入れる二つの旅館に話を聞いた。

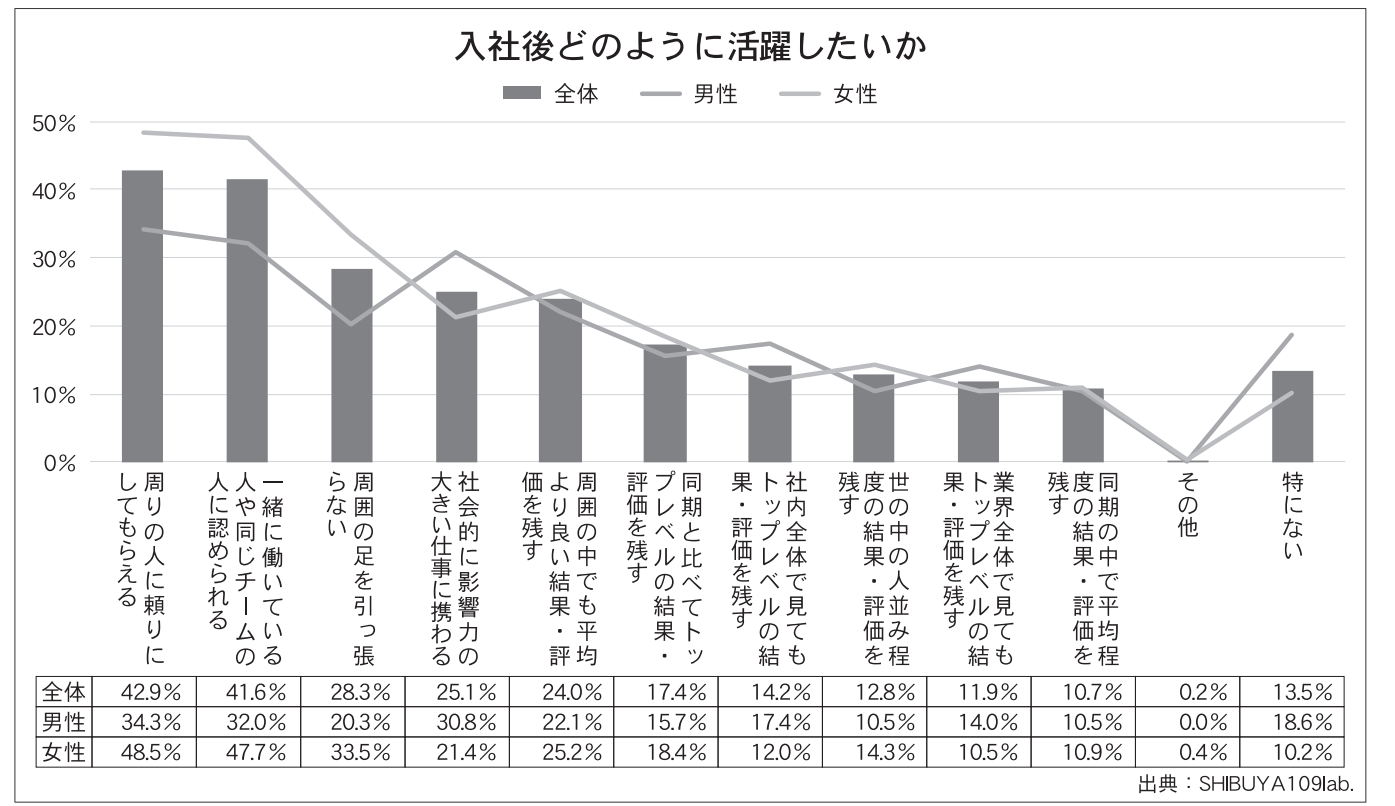
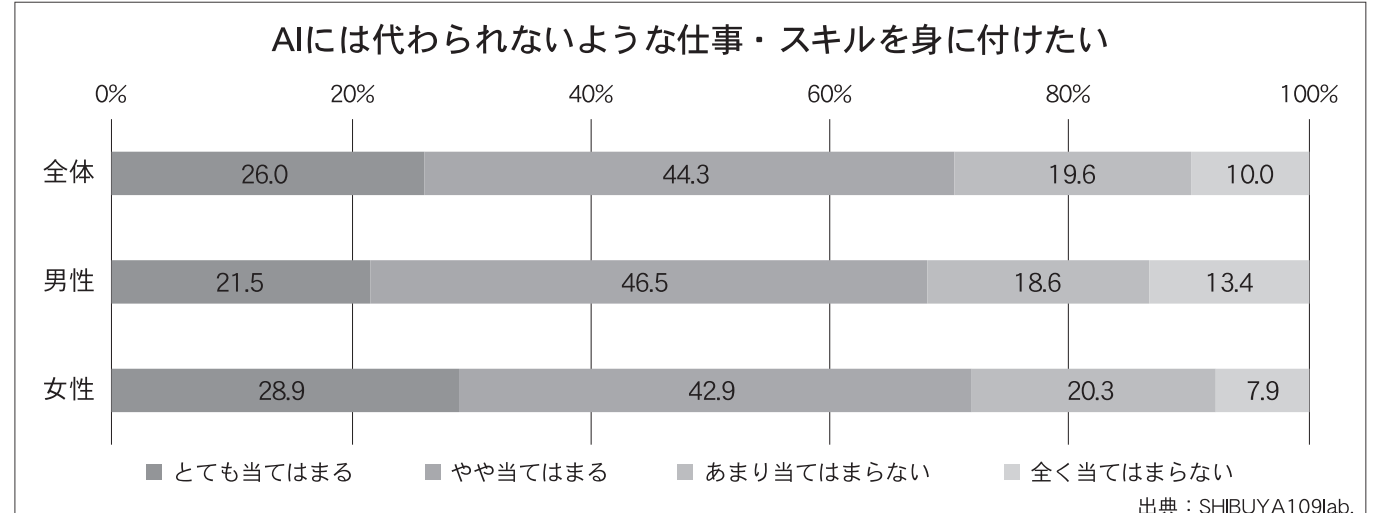
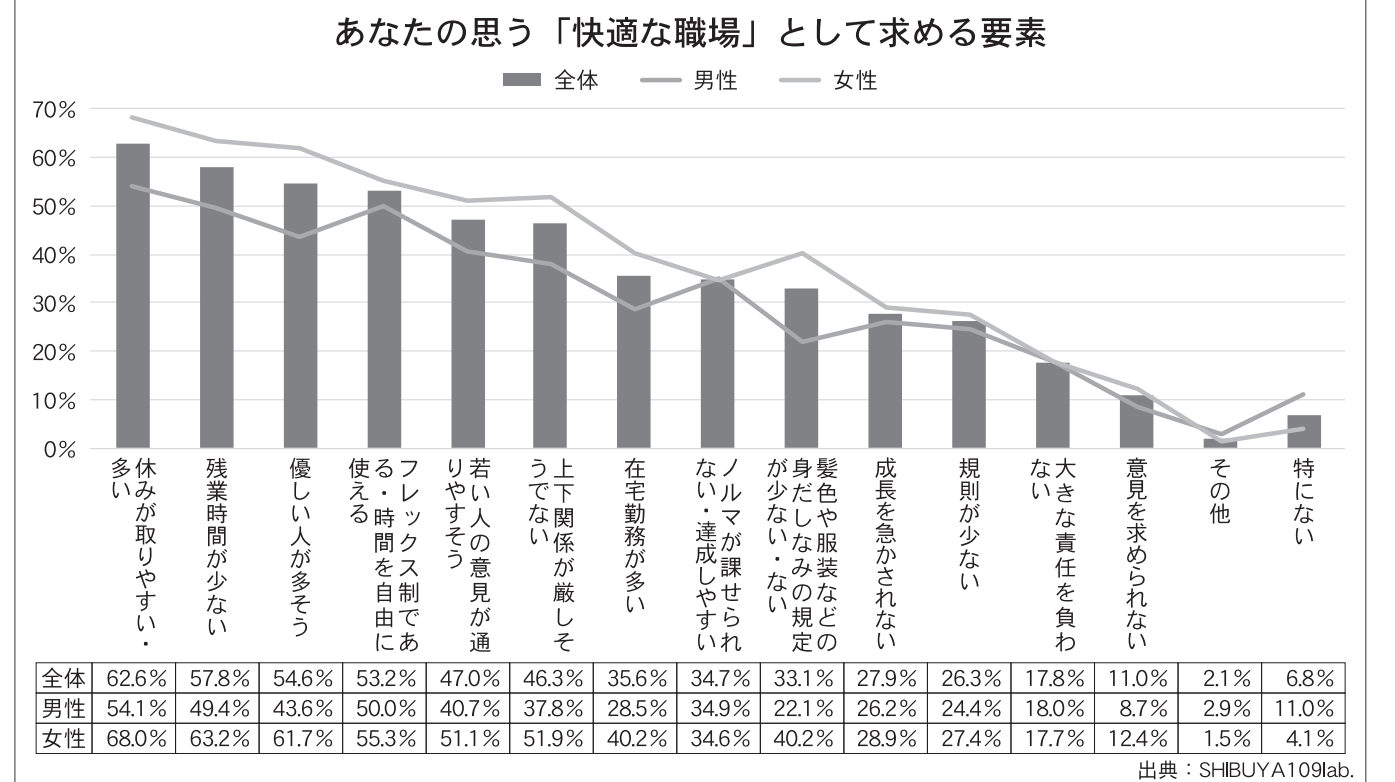
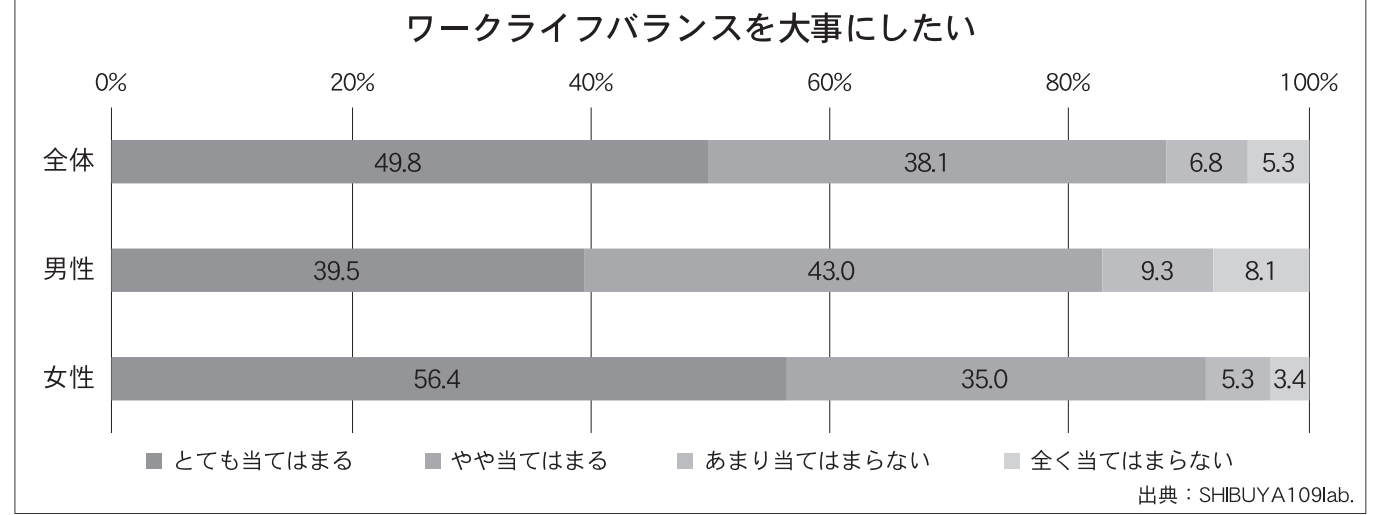
SHIBUYA109lab. 調べ 「Z世代のキャリア観に関する意識調査」

Z世代 1990年代後半～2012年ごろに生まれた若者を指す ※明確な定義は存在しない

SHIBUYA109 エンタテインメントが運営する新しい世代に特化した若者マーケティング調査機関「SHIBUYA109lab.」は、このほど、「同社が実施したZ世代のキャリア観に関する意識調査」の結果を発表した。これによると、バリバリ働いていきたいと回答した人は約49%にとどまるも、自分のペースで成長したい人が約80%、自分の市場価値を上げたい人が約75%と、一定の成長意欲がみられることが分かった。

「自分のペースで」8割 仕事は自分軸、意欲高く

8%、「優しい人が多すぎ」が54.6%だった。Z世代の成長意欲は自分で決定される傾向にある。AIには代われないようなスキルを身に付けたいと回答した人は70.3%（とても当てるは70.3%、やや当てるは31.7%）。



静岡県伊豆の温泉旅館「望海」(村木康之社長)は、今年度4人の新入社員を迎えた。新人研修は1ヵ月間、社会人としてあるべき姿を、そして同旅館の社員としての心構えやスキルを習く。



村木康之社長 フォローする。職理の第1位に「勤務体制」が挙がっていた。新入社員は「新入社員は朝の仕事を完全分業化して、丸1日の休みを取り組むイメージで、日々成長を実感している」と話す。

松本由起女将 松本由起女将は、研修期間中は全ての新入社員に関わる。伊香保温泉の旅館「松」(松本由起女将)は、今年度から新たに6人の新入社員(第2新卒含む)を加わり、若手社員が主体・意欲的に働ける成長を促す研修を実施している。



松本由起女将 入社して3年目の若手社員が1人ずつ、研修期間中は全ての新入社員に関わる。伊香保温泉の旅館「松」(松本由起女将)は、今年度から新たに6人の新入社員(第2新卒含む)を加わり、若手社員が主体・意欲的に働ける成長を促す研修を実施している。

